

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年3月19日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	阿字ヶ浦温泉におけるバイオマスボイラーへの更新によるCO2削減事業
承認番号	KC1338
排出削減事業者名	株式会社マルヒ
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：バイオマスボイラー普及促進会)
事業実施場所	阿字ヶ浦温泉のぞみ (住所：茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町 3290)
事業の概要	本事業は阿字ヶ浦温泉の加温用の熱源として木質バイオマスボイラーを導入し、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012年度：179tCO2 2013～2019年度：442tCO2 2020年度：259 tCO2 (事業実施期間合計 3,532 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2012年11月1日 終了予定日 2020年10月31日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2017年10月31日 (第2回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	851tCO ₂ (2013年4月1日～2017年10月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 承認排出削減事業計画通り木質バイオマスを燃料とするバイオマスボイラーが稼働していることを、ヒアリング及びペレット購入記録より確認している。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、燃料使用量の集計確認等のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 ペレット購入記録より、活動量は正しく算定されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、各排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 本実績確認の対象期間の測定結果と排出削減量の算定結果を突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減

	量の算定結果が正確である事を確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は 2013年4月1日から 2017年10月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年10月31日となっているため、当該算定結果は認証期間の終了日を超えないことを確認した。□

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量について、熱量換算で 12513.8 GJ（高位発熱量基準）であることを確認した。

なお、前回実績確認から、30%程度の排出削減量の減少が見られるが、これはペレットボイラーの付属部品の破損等によるボイラーの一時稼働停止、ペレットの代わりに海外産のヤシ殻（発熱量不明、約100t使用）の投入（発熱量が不明のため、算定対象外としている）によるものである。これに加えて、H28~H29年度は原油価格の低下によるA重油ボイラーの稼働（燃料費が高いペレットの稼働停止）により、排出削減量が大きく減っている。

以上